

2023年度デイリースポーツ杯決勝レポート

レポート：田邊

場所：徳島県鳴門市瀬戸町明神字鳴谷106-2 斎藤渡船 携帯：090-3782-0837

日時：2023年5月28日 日曜日

決勝進出者：3日間の予選を勝ち抜いた18名と昨年度優勝者の19名

関西チヌ研からの出場者は山川会長と田邊の2名です。会長は仕事が一番忙しい時期なので目一杯仕事をして休む暇なく帰れば自前のダンゴ作りなど釣りの準備です。23時30分私の家に来てもらい同乗させてもらう。予定は3時30分までに斎藤渡船に着くようする。生き餌はサワム、フィッシングマックスにはなく、南港のTポートまで行き予約のボケ、その他を購入。そして堂の浦の斎藤渡船へと車を走らせる。私も半分居眠りをしながら乗っていましたが加古川バイパスの文字があり加古川を通過しています。姫路の看板も出てます。ウワアこれはエライコッチャーと引き返す。コンビニにも寄り我々の食事も購入し予定時間内に現地到着しました。

3時30分いよいよ受付が始まり筏の抽選です。私は5-1番、山川会長は16-2番、全チヌの島田会長と同じ筏です。いよいよ渡船開始です。今日は朝から風が強く波しぶきを被りながらの渡船です。5番筏は船着場から一番奥の方に設置された筏です。筏に着くや即、風下のテントを背にして釣り座をとった。ダンゴは筏に設置されたものを使用するが予選で使用したものと少し赤みがかかった物に替わっていた。以前のものよりも少し粘りが無いとのこと。予選同様釣り開始前の準備作業です。ダンゴも思ったように仕上がり釣り開始です。風下に座れたことも功を奏し7時半位までに35cm位を2匹釣ることができました。今回のこの決勝は2匹の合計寸法を競うため最低の条件をクリアしたことになります。9時過ぎ見回りに来た斎藤船長さんが「釣れてるか？」35cm位2匹釣ったよと答えると「島田さんが45cm位を1匹釣っているだけで全体的に釣果の方はよくないとのこと」従って上位に入る可能性があるから頑張ら!! と良い情報いただき励ましてくれた。

これからの目標は45cmを目標に釣ることにしたが思う様に釣れません。10時位に35cm位を1匹追加しました。ボラもそのころには寄ってきてせわしくダンゴを突っついていきます。中にはダンゴが割れ餌が出た段階でボラが餌を捕食し間違えて合わせてしまい何度かあります。そのうちの最悪なケースがありました。ダンゴから抜け出たエサに当たりがあり見事に合わせたんですが引きがあまりにも強く竿を持っている左手腕を支点としている竿尻が外れアツと言う間に海中にドボン!!尻手ロープをつけていませんでした。基本中の基本を怠りました、反省します。

気を取り直し別の竿に仕掛けをセットし釣りを開始する。先ほどの珍事件があったことも忘れるぐらい以前の状態でボラの当たりも続いています。ダンゴが割れ餌が抜けだし少し間をおいてぐっと押さえる当たりを合わせる。今度はチヌだと分かる引き大きさは今迄よりも大きいと思う。上がってきたのは立派な40cmを超えるチヌでした。それから子チヌ25cm以下1匹が釣れ、そのあとボラとともにいなくなってしまう。よくぞ最後に40cm以上が釣れたことに満足しています。

納竿後検寸の結果は次ページに示す。

順位	氏名	2匹寸法	
優勝	田邊 文雄	78.5	cm
準優勝	永田 朱美	70.0	cm
3位	井澤 博	69.0	cm

2023年デイリースポーツ杯黒鯛サーキット選手権決勝大会 (5月28日(日))

全日本チヌ釣連盟主催

氏名	釣果						合計長寸 匹数 順位		
	1	2	3	4	5	6	合計長寸	匹数	順位
1 前田 英俊	27.5	25.7					53.2	2	4
2 田邊 文雄	42	36.5	33				78.5	4	1
3 塩野 弘幸									
4 井澤 博	34.5	34.5	34	33	32		69	6	3
5 岡本 裕介									
6 樫口 義夫									
7 青野 哲治	35.5						35.5	1	7
8 岡本 昌治	37						37	1	6
9 島田 雅文	44						44	1	5
10 山口 一									
11 宮脇 康正									
12 永田 朱美	35.5	34.5	31.0				70	5	2
13 山川 桂									
14 岡本 和也									
15 三木 雅幸									
16 霜田 一吉									
17 山本 研二									
18 伊永 和之									
19 内山 英樹									

優勝 田邊文雄 氏 準優勝 永田朱美 氏 3位 井澤博 氏

78.5cm

70cm

69cm

総匹数 20匹



優勝の田邊文雄 中央 関西チヌ研所属
 準優勝の永田 朱美さん 左側 京都チヌ研所属
 3位の伊澤 博さん 右側 地元の名人



決勝進出の19名記念写真



今日の最長寸42cm



今日の釣果

デイリー釣ったかたがた劇場

圧巻劇

田辺選手

最高齢81歳大ベテランが熟練の技決めた!!



決勝戦を全力で戦った選手ら

後援 デイリースポーツ杯 黒鯛サーキット選手権2023

近畿地方が昨年より16日早く梅雨入りしましたが、それを知っていたかのように記者の家ではアジアイがきれいに咲いて写真赤から青に至るまでユニフォームも鮮やかに粉を吹かせています。今回は雨の中を走らせたおかげで、雨のせいでお釣りが減りましたが、81歳の大ベテランが、年齢を感じさせない圧巻の優勝劇でしたよ。(釣リデスク・柴田直記)

速攻7時に42秒ゲット「今までにない自慢できる釣り」で笑顔の初優勝

レディーズ 釣り大会 ラスト10分の奇跡!! 志帆さん大興奮V

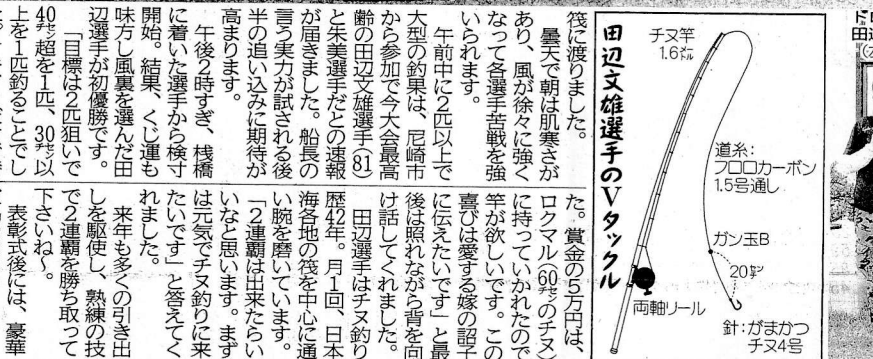
準優勝の赤田さん(後列右)、優勝した志帆さんは49歳のチヌの引きに、突然カッツ

黒鯛サーキット決勝成績

順位	選手名	住所	寸法1	寸法2	合計
1	田辺文雄	徳島県南予市	42.00	36.50	78.50
2	赤田明彦	徳島県北条市	42.35	36.50	78.85
3	徳島県南予市	42.35	36.50	78.85	

28日、徳島、南予の漁師が、本紙指定店 斎藤渡船(斎藤善三社長)の後で開催されました。同日、徳島、南予の漁師が、本紙指定店 斎藤渡船(斎藤善三社長)の後で開催されました。同日、徳島、南予の漁師が、本紙指定店 斎藤渡船(斎藤善三社長)の後で開催されました。

全日本チヌ釣連盟



ドロボウニを手に笑顔を見せる優勝の田辺選手(中央)と準優勝の赤田選手(左)、3位の井澤選手



自作仕掛け作りに四苦八苦。今度、船釣りに行くので仕掛けなどの準備をしよう! まずはお釣りに関係する道具を揃えよう。その次に胴付き仕掛け作り。全長を測ったフロ

田辺文雄選手のVタックル。道系:700カーボン1.5号通し。ガン玉B 20号。針:がまかつチヌ4号。両軸ノール。

順位に入っていないと思いましたが、サナキはさっぱりだったのでオキアミエロローとフロクを交互に使い、後半は引き込みました。来年元気で参加できたいです。

50回 マチア選手権

THE DAILY SPORTS AMATEUR GOLF CHAMPIONSHIP BY AGC 2023

船名、機材、船主などの詳細情報表

船名	機材	船主
真鯛アジ	出口氏イサギ28-40号75匹	
鬼ノ	...	
...	...	